

取扱説明書

このたびはシユアークッキングヒーターSK-1200Sをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。



クッキングヒーター / SK-1200S / Cooking Heater

01	各部の名前
02~06	安全上のご注意
07	ご使用の前に
08~10	ご使用方法
11~12	お手入れと保管
13	故障かな?と思ったら
13	仕 様
14	保証とアフターサービス
Back Cover	保証書(裏表紙)

△注 意

一般のご家庭でご利用いただく調理器具です。業務用および燻製作成用には使用しないでください。早期故障の原因になります。

やけどに注意！
渦巻きに見えるヒーター部分は大変高温になります。手をかざして熱気を感じたら触らないでください。

誤使用注意！
調理器具です。調理以外にはご使用しないでください。

型番	SK-1200S		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL. (印)

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障及び損傷

年 月 日	サービス内容	点 検 印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

シユアーお客様ご相談センター
048-931-3110

〒340-0807
埼玉県八潮市新町9
受付時間：
月～金の9時～12時/13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

各部の名前

ヒーター

ヒーターに直接鍋等を載せて加熱します。

※スイッチを入れて通電したときヒーターは明るいところでは「赤熱」して見えませんが発熱していますのでご注意ください。

ヒーター固定フック

ヒーターを固定するもので、受け皿を取り出す際にフックを外しヒーターを持ち上げます。

電源コード

約1.8mのゴムコードです。たばねたままでは使わないでください。

差込プラグ

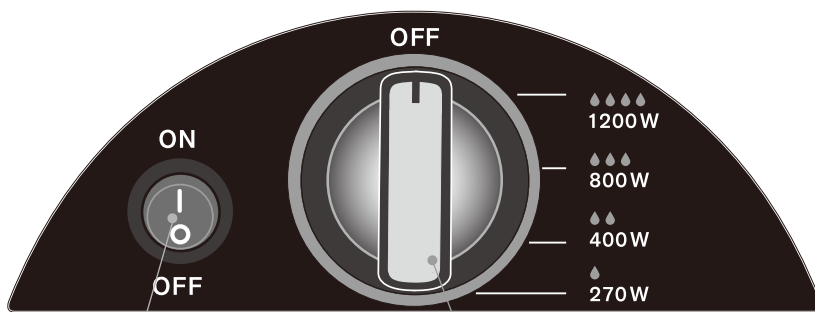
定期的にほこりや汚れを取り除いてください。

本体

受け皿

着脱式になっているので、お手入れが簡単です。
(p.11「受け皿のお手入れ」参照)

操作パネルのみかた



主電源スイッチ

ヒーターへの通電を「ON」「OFF」するスイッチです。

※自照式のスイッチで「ON」時は赤く点灯し、「OFF」にすると消灯します。熱量調節ダイヤルで通電中でも「OFF」(消灯)にすることで、電源を切ることができます。

熱量調節ダイヤル

「OFF」・「1200W(強火)」・「800W(中火)」・「400W(中火)」・「270W(弱火)」と調理に合わせて切り替えができます。主電源スイッチが「ON」で通電中でも「OFF」にすることで、電源を切ることができます。

※ヒーターへの通電は切れますが、主電源スイッチが「ON」の状態の時は、主電源スイッチのランプは赤く点灯し続けます。

熱量調節ダイヤル目盛

OFF	切
1200W	1200W(強火)
800W	800W(中火)
400W	400W(中火)
270W	270W(弱火)

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度

表示と意味は次のとおりです。

警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

ⓘは、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店またはシュアーお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

シュアーお客様ご相談センター

048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

注意

3～5年に一度は必ず定期点検を行う。

本体内部にほこりなどがたまったまま長時間使用すると、火災や故障の原因になります。

※有償点検となります。



必ず行う

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わない。また改造はしない。
感電・発火や異常動作してけがの原因になります。



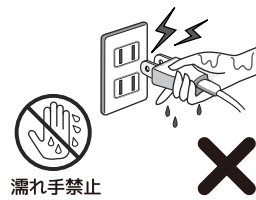
電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると発熱による火災の原因になります。



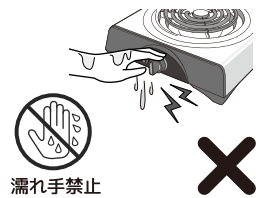
差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因になります。



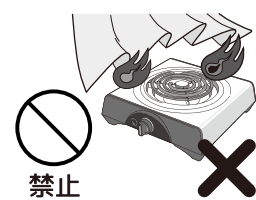
濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



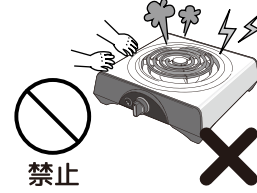
濡れた手でスイッチつまみの操作をしない。
感電やけがの恐れがあります。



カーテンなどの可燃物の近くで使わない。
火災の原因になります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれがあります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因になります。



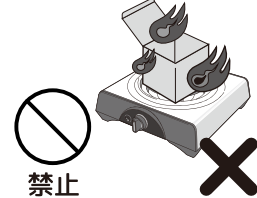
差込プラグのほこり等は定期的
に拭き取る。
プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の原因になります。



ヒーターの上に物を置かない。
火災の原因になります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり挟み込んだりしない。
コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



ヒーターの上で直接食材を焼かない。
食材が焼けて火災の原因になります。



天ぷら調理中や使用中は、絶対に本体から離れない。
油が発火し火災の恐れがあります。



炭の火おこしは危険なので行わない。
火災・やけどの原因になります。



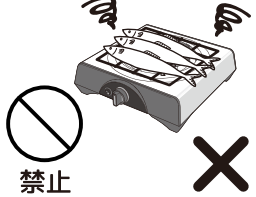
ヒーターの上でアルミホイル焼きや、缶詰・瓶詰め等を直接加熱しない。
破裂したり赤熱してやけどやけがの原因になります。



本体をおおうような大きな調理器具は使用しない。
火災・やけど・テーブルの焼損等の原因になります。



燻製やアミ焼きは、行わない。
発火したりヒーターや本体が著しく損傷します。

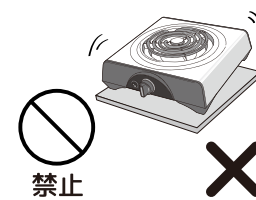


⚠ 注意

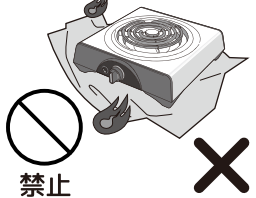
壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



不安定な場所の上では使用しない。
落下によるけがや火災の原因、なべの転倒によるやけどの原因になります。



ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん・新聞紙・ダンボールなどや量の上では使用しない。
火災の原因になります。

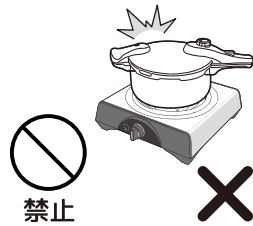


鍋の調理・やかんの湯沸かし以外の目的で使わない。
火災の原因になります。



△注意

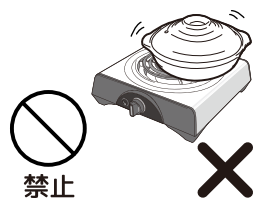
圧力鍋での料理は行わない。
本体の故障・変形の原因になります。



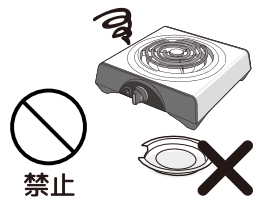
必要以上に加熱しない。
加熱し過ぎると調理物が発火する原因になります。



鍋などをヒーターの中央以外の端などに載せない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



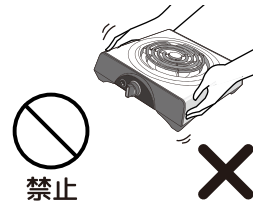
受け皿を外した状態で使用しない。
故障や破損、ショート・発火の原因になります。



使用中は本体から離れない。
調理物が発火する恐れがあります。



ヒーターが固定されてない状態で、運んだり移動しない。
受け皿がはずれて落下し、けがをしたり、破損の原因になります。



鍋などのからだきは絶対にしない。
火災の原因になるうえ、鍋や本体をいためます。



底が平らな鍋以外は使用しない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



本体に鍋などを載せたまま持ち運ばない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



使用中や使用後しばらくは、本体やヒーターなどの高温部にふれない。
高温のため、やけどの原因になります。火災の原因になります。



差込プラグにピンやごみを付着させない。
感電やショートして発火の原因になります。



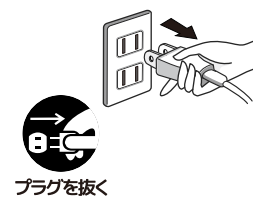
火気(コンロ・ストーブなど)の近くや、ほこり・金属片の多いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火の原因になります。



使用後は必ずお手入れをする。
調理くずやふきこぼれが残ったまま再度調理すると、発煙・発火の原因になります。



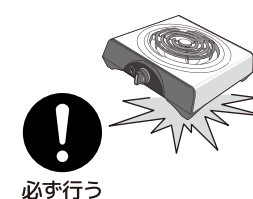
使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



調理物が異常に発煙したり発火した場合は、すぐに主電源スイッチを「OFF」にし、差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



落下などにより本体が破損した場合は、差込プラグを抜いて修理の依頼を行う。
感電・ショート・故障の原因になります。



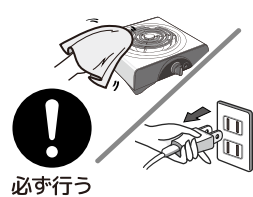
主電源スイッチを「ON」・「OFF」する際は必要以上の強い力でスイッチを押さない。
本体が動き、載せている鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



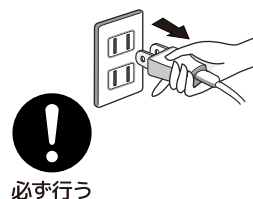
お手入れ及び持ち運ぶときや保管するときは、本体が十分に冷めてから行う。
やけど・火災の原因になります。



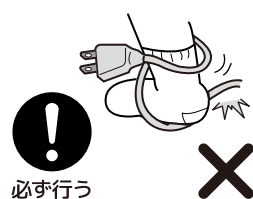
お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
やけど・感電の原因になります。



差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。
感電・ショート・故障の原因になります。



電源コードに足などを引っかけないように注意する。
本体が落下して、けがや故障の原因になります。感電事故の原因になります。



ご使用前に

設置場所

本体を可燃物から下図のように周囲より離して設置する。

本体前面及び、側面を含む2面以上を開放してお使いください。

設置にはしっかりした、固い、平らなところを選びください。



必ず行う

⚠注意

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上やじゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや量の上では使用しない。
火災の原因になります。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

火気(コンロ・ストーブなど)の近くや、ほこり・金属片の多いところ、水のかかるところでは使用しない。

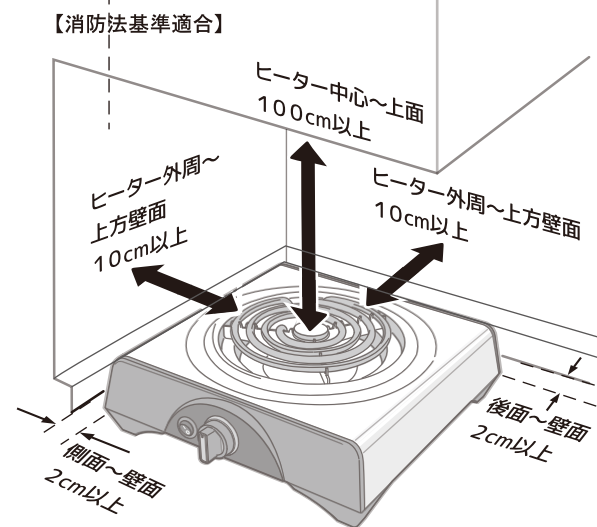
故障や破損、ショート・発火の原因になります。また、本体の故障、変形や火災の原因になります。

不安定な場所の上では使用しない。
落下によるけがや火災の原因になります。



禁止

カーテンなど可燃物の近くで使わない。
火災の原因になります。

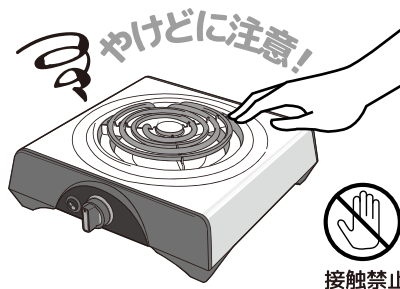


※本体後面には電源コードがあります。実際の設置では、電源コードが屈曲しないよう、余裕を持たせて設置してください。

ヒーターに関してのご注意

⚠注意

ヒーターに通電中の時はヒーターが赤熱していても高温になっています。



接触禁止

ご使用方法 (その1)

1 はじめてお使いのとき

⚠注意

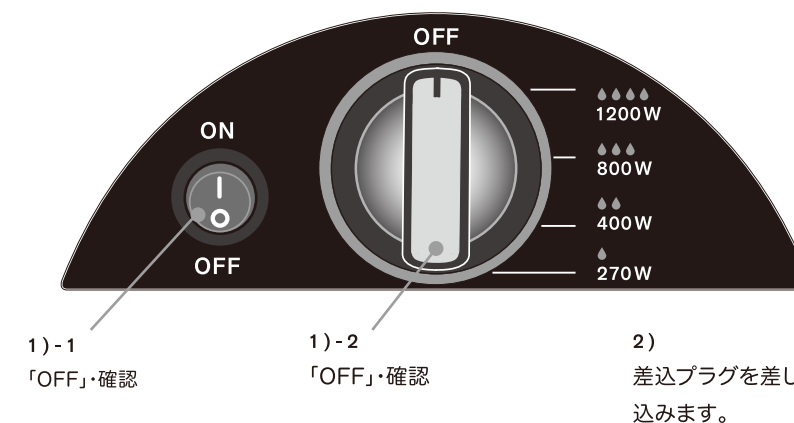
ヒーターから、煙が出ることがありますが、製造段階でのさび止め処理によるものですから差しつかえありません。ご使用により出なくなります。

ご使用期間が空いたときは、ヒーターの上にホコリなどがついている場合がありますので取り除いてください。



必ず行う

2 差込プラグをコンセントに差し込みます。



1) 主電源スイッチと熱量調節ダイヤルが「OFF」になっていることを確認してください。

2) 差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電・ショート・発火の原因になります。

3 調理する鍋などをヒーターの上に載せます。

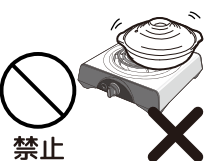
⚠注意

お使いになる鍋などは、底が平らなものをお選びください。
底に丸みがあるものや凹凸のあるものは熱効率が悪いうえ、不安定で危険です。

なべ底の直径が25cm以内のものをご使用ください。



鍋などをヒーターの中央以外の端などに載せない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



禁止

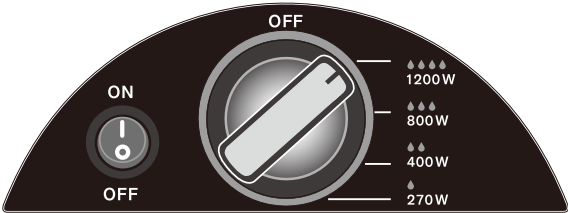
4 主電源スイッチを「ON」にします。

注意

主電源スイッチ(自照式)が赤く点灯したことを確認してください。



5 熱量調節ダイヤルを合わせ調理します。



熱量調節ダイヤルのツマミ位置の目安

調理例	最初の目安	沸騰後の目安
カレー	1200W(強火)	270W(弱火)
煮豆		270W(弱火)～400W(中火)
湯どうふ		
おでん		270W(弱火)～800W(中火)

※スイッチの低動作音がしますが故障ではありません。
※調理する鍋や容量などによって、沸騰後の目安は異なってきますので、煮立ち具合を見ながら調節してください。

注意

主電源スイッチが「ON」で、熱量調節ダイヤルが「1200W(強火)・800W(中火)・400W(中火)・270W(弱火)」のいずれかの時は、熱量調節ダイヤルの動作音がしますが、正常に動作しているためで故障ではありません。

ヒーターは明るい部屋などでは「赤熱」して見えませんが、手をかざして熱を感じたら発熱していますのでやけどなどにご注意ください。



接触禁止

使用中は本体から離れないこと。特に天ぶら調理中はその場を絶対に離れないこと。油が発火し火災の恐れがあります。



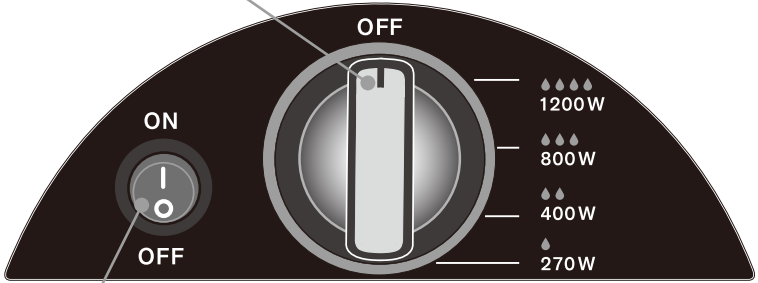
禁止

6 ご使用後

1) 熱量調節ダイヤルを「OFF」にします。

2) 主電源スイッチを「OFF」にします。

3) 差込プラグを抜きます。



1) 熱量調節ダイヤルを「OFF」にします。

2) 主電源スイッチを「OFF」にします。

3) 差込プラグをコンセントから抜きます。

注意

主電源スイッチ(自照式)が消灯したことを確認してください。

調理後のお手入れは本体が完全に冷めてから行ってください。
(p.11-12「お手入れと保管」参照)

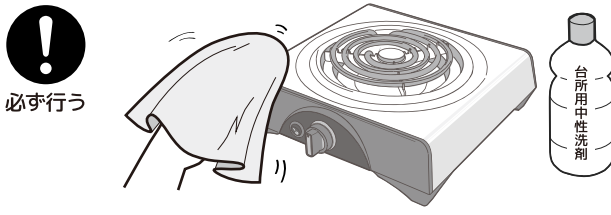


必ず行う

お手入れと保管

本体・ヒーターのお手入れ

台所用中性洗剤を浸したやわらかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いたやわらかい布で洗剤がのこらないようにきれいに拭き取ってください。

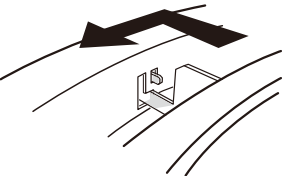


必ず行う

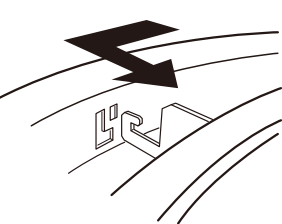
受け皿のお手入れ

1) ヒーター固定フックをはずします。ヒーターを矢印の方向に押し動かしヒーター固定フックをL型の切り込みより取り外します。(図①)

図①-1 ヒーター固定フックを矢印方向に押し動かします。



図①-2 L型の切り込みより取り外します。

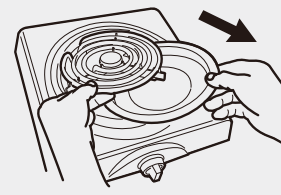


⚠注意

ヒーターを持ち上げる際は、ヒーターが完全に冷えていることを確認してから行ってください。

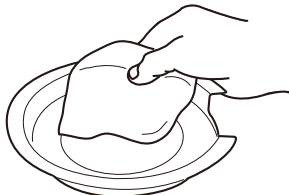
2) ヒーターを持ち上げ、受け皿をはずします。(図②)

図② ヒーターを持ち上げて、受け皿をはずします。



3) 受け皿を清掃します。台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジを使って洗います。洗剤が残らないように十分なすすぎ洗いをした後、乾いた布で水分を拭き取ります。(図③)

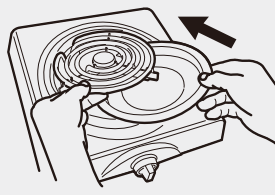
図③ 乾いた布で受け皿の水分を拭き取ります。



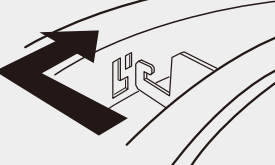
4) 受け皿を取り付ける。取り付けは逆の順序で行います。(図④)

必ず行う

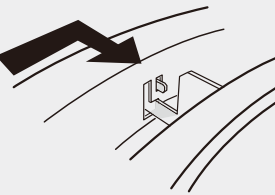
図④-1 ヒーターを持ち上げて、受け皿をはめます。



図④-2 ヒーターの固定フックをL型の切り込みにはめ込み、矢印方向に動かします。



図④-3 確実にロックされたか確認！



お手入れ時のご注意

必ず本体・ヒーターが冷めてから行う。
ご使用後ヒーターに手をかざし熱さを感じた時は、冷めるまでお手入れを行わないでください。やけど原因になります。

⚠警告

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。
ショート・感電やけがの恐れがあります。



プラグを抜く

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。
ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

ご使用ごとに、必ずお手入れを行う。
お手入れを行わないままですと、油汚れがこびりつき、落ちにくくなるばかりでなく、次の使用時に油が加熱され油煙の原因にもなります。また、調理物がこげたり、焼きむらができたりして風味をそこないます。



必ず行う

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



濡れ手禁止

お手入れは、本体が十分に冷めてから行う。
やけどの原因になります。



必ず行う

お手入れの際は金属製のたわしやナイロンたわし、磨き粉などは使用しない。また、シンナー、ベンジン、化学ぞうきんなどは使用しない。
傷や変色の原因になります。



禁止

保管時のご注意

⚠注意

保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

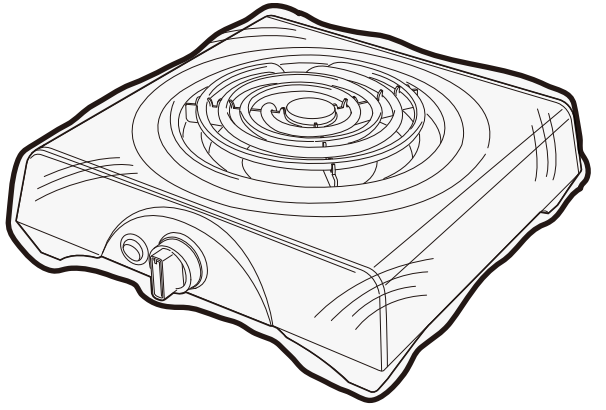
湿気の少ないところに保管してください。

保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。箱がない場合はポリ袋に収めてヒーターに注意して保管してください。

保管時は上に物を載せたりしないでください。



必ず行う



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	症 状	通電しない	沸騰や調理に 時間がかかる	調理中、煙が 出たりする	調理中に 「カチカチ」と音がする	処 置
差込プラグ		●				差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか。 [処置] 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
本 体		●				停電ではありませんか。 [処置] 通電を確認してからご使用ください。
		●				主電源スイッチが「OFF」になっていませんか。 [処置] 主電源スイッチを「ON」にしてください。
		●				熱量調節ダイヤルが「OFF」になっていませんか。 [処置] 熱量調節ダイヤルを回して「強火・中火・弱火」のいずれかにしてください。
			●			熱量調節ダイヤルが適切な位置になっていますか。 [処置] 熱量調節ダイヤルを調理し始めは「1200W(強火)」、沸騰後は調理に合わせて、中火又は弱火にしてください。
				●		通電してしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂などが加熱されて、煙が出ることがあります。 [処置] お手入れを十分に行なってください。
				●		使い始めたばかりではありませんか。 初めてのご使用の際は煙が出たりにおいがすることがあります。 [処置] 故障ではありません。そのままお使いください。
					●	ヒーターの熱膨張や熱量調節ダイヤルの動作によるものです。 [処置] 故障ではありません。そのままお使いください。
受け皿				●		脂などのよごれがついているとヒーターの熱により煙が出たりします。 [処置] お手入れを十分に行なってください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。詳しくは、p.14「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕 様

定 格	100V 50/60Hz	ヒーター	シーズ式ヒーター(内・外2本)
消費電力	1200W	熱量調節ダイヤル	4段切り換え
本体寸法	幅300×奥行322×高さ100mm		1200W(強火)・800W(中火)
質 量	約2.0kg		400W(中火)・270W(弱火)
電源コード	ゴムコード約1.8m	主電源スイッチ	自照式 ON / OFF

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

保証書について	
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。	保証期間:お買上げ日から1年間 詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

修理を依頼されるとき

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店、電気店またはシュアーお客様ご相談センターへお問い合わせください。

保証期間中は	保証期間が過ぎているときは
保証書の規定に従って、お買い上げ販売店が修理させていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。	修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。 注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

長年ご愛用のシュアークッキングヒーターの点検を！ / このような症状はありませんか



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所	本 社	東日本営業所	西日本営業所
	〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15	〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031	〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893